

10月28日(土)・大会1日目 9:50~11:10 (会場: C404) (80分)

●セッション【4】

テーマ:機械学習と組織

「機械学習の経営学研究への応用」

◎立本博文 (筑波大学ビジネスサイエンス系)

伴正隆 氏(筑波大学ビジネスサイエンス系)

◎セッション・リーダー

[概要]

本セッションでは従来の統計手法と機械学習手法との比較しながら、機械学習手法の平易な紹介を行う。その上で、典型的な機械学習の使用方法を紹介する。初学者の経営学研究者にとって、機械学習を用いた研究がイメージしやすいように、研究の実例(ジャーナル掲載論文など)を紹介する。たとえば、動画やテキストを用いたリーダーシップの様式判定とその影響の研究や、自然言語を対象にトピックモデリング(LDA)を用いたジェンダーや商品ポジショニングの研究や、会社の株主向け公開資料からリーダーシップ分類を予想する研究など、を紹介する。なるべく幅広い適用例を紹介しようと思う。本セッションの最後に質疑応答の時間をもうける。会場からの質問や発表者間の討論を通じて、機械学習を経営学研究で適用する際のプラクティスや注意点について理解を深める。

[参加者へのメッセージ]

データサイエンスやAIの技術発展により、経営学研究者でも、これらの技術を比較的容易に用いることが出来るようになりました。これらのテクニックを使って、いままで出来なかった研究の進展や新しいフロンティアの開拓が可能になっています。ぜひご参集ください。